



われもこう

題字 三崎 康さん



結局、分類は同じ

合同会社スノーフレーク 代表社員 田中 順子

障害福祉サービスの児童施設10年、その内、就労施設も5年運営しておりますが、支援を通して感じることは「生物学的には同じである」ということです。しかしながら、同じ身体構成組織で作られた人間であっても、違う種類のものだと考えている方が多いように思います。やはり、「知らないから、勝手に想像する。」「知らないから、関わらない。」というような方がいらっしゃるのが事実で、知らない以上は当然の気持ちだと思っています。だからこそ「知ってくださいプロジェクト」を立ち上げ、見た目では分からない神経発達症（発達障害）のことを知っていただくことを目的とした活動を現在も続けています。

プロジェクトについて少し触れますと、この活動が始まったのは一つの紙芝居がきっかけでした。重度自閉症児を抱えるお母さんが、支援学校に進学した理由を自分の子どもと同じ年齢の子ども達に向けて説明するために手描きで作製されたもので、その紙芝居を授業で読み聞かせしたところ、内容に心を動か

された校長先生が、紙芝居を絵本にすることを提案されました。そこで、有志のメンバーが集まって活動を開始することになったのです。絵本の作製については、国の助成金を使いました。絵本だけでなくプロジェクトを広めるためのホームページ作成や動画の配信を行いました。絵本のことがNHKで放映された時は非常に嬉しかったです。現在は、高槻市内の学校や幼稚園に絵本を寄贈する活動を行っています。

このような活動だけでなく、就労施設では「つながるカフェ」として障がいのある方々が商品作りから提供、接客をされるカフェを運営しています。ご来店された方は珈琲やパウンドケーキを店内で召し上がったり、焼菓子の詰合せを購入されたりしています。珈琲は地元の珈琲店から数種の豆を仕入れ、オリジナルの比率で合わせています。ご注文を受けてから施設のご利用者が豆を挽き、一杯ずつ丁寧に淹れて提供し、ドリンクに添えられるクッキーも粉から生地を作っています。これらの



作業を障がいのある方々が手順書を見て完成させ、働いておられることも「知ってください」の一つです。

こういった活動をしていると、その原動力は何かと訊ねられることがしばしばあります。自分自身、確固たるものがあるとは思えませんが、最近になって自分の中にも「知ってください」があるからだと思うようになりました。私には 3 人の子どもがいます。一番下の子は 2003 年 4 月生まれの知的障害で、特別支援学校の卒業生です。乳児から順調な発育で、寝返りも歩行も問題がなく、健診でも特に何も言われませんでした。ところが、発達に関して気になることがあったんです。私は保育士でも看護師でもありませんでしたが、既に 2 人の子どもを育てていた経験上、月齢による発達過程を知っていたので、長男の発育に違和感がありました。見た目には全く分かりません。むしろ、4 月生まれだったこともあり、排泄や衣服の着脱など身辺自立はできる方でした。しかし、ブロックを渡しても、ミニカーを数台渡しても、ただ積み上げる遊びを繰り返しましたし、保育所では周囲の園児が形を描き始める「象徴期」と言われている時期に、クレヨン 1 色でなぐり書きをしていました。教室に貼り出された絵を見ると周囲の園児との違いは歴然で、保育士に相談するも「男の子はそんなもんよ」と言われるだけでした。私は、自分が抱える違和感を誰に話せば良いのか分からず、長男の遊び方である「ブロック 高く積む」と検索をしました。すると「自閉症」と表示がされました。この言葉を見た時、やっと

手がかりが得られたと安堵し、これからは「自閉症児」に関する情報を集めて、今からできることを探せば良いんだと思いました。この日から他者に訊ねることを一旦諦めて、3 歳半健診まで待つことにしました。自己流でも良いから、健診までは自閉症児に有効なことを長女や次女の協力を得ながらやっていこうという気持ちでした。その後の 3 歳半健診では「自閉症傾向にある」と言われたので、保育所や学校、学童教室の先生に私が説明をしてまわり、配慮をいただきながら学生時代を終えました。

現在はたくさんの本が出版され、テレビで放映されているので随分と認知されています。きっと今、保育所へ通っていたら長男は発達が気になる子の枠に入っていたでしょう。しかし、現在は殴り書きをせず下手でも模写ができますし、箱庭の検査もできます。21 歳になり、発達年齢は 14 歳とされていますが、時間をかけて小さな成長を繰り返している姿を見ていると環境によって幾らでも変化するものだと感じます。そのあたりも「知ってください」ですし、どこにも話せる場所がない、訊ねる人がいないと感じる方が一人でも減るようにと願って活動しています。障がいがあっても、なくても「生物学的には同じである」と思いながら。





研修実施報告 《同行援護従業者養成研修開催》

- 一般課程／5月14日・15日・16日
- 応用課程／5月22日・23日

〈受講生の感想から〉

- ・講義を受け、できそうだけどいざやってみるとちょっと難しいなと思いました。まだまだ技術を向上させないといけないなと思いました。
- ・視覚障がい者の方を見かけると、全部手伝わないと、と思っていました。障がい者と健常者という分け方ではなく、人として接することが大事だと感じました。
- ・バスや電車の演習は初めてでした。教えてもらった知識を支援にいかしていきたいです。



〈演習協力施設(敬称略)〉 高槻市交通部 芝生営業所(高槻市営バス) 阪急電鉄株式会社

第3号(特定の者対象)喀痰吸引等研修基本研修 受講生募集中

【高槻市障がい福祉サービス従事者養成研修費補助金対象】

喀痰吸引等(たんの吸引・経管栄養)の行為が、安全かつ適切に行うことができる介護職員等を養成することを目的に、下記のとおり基本研修を実施します。

- 〈研修会場〉 地域生活支援センター光
- 〈受講料〉 20,000円 別途テキスト代 3,080円(税込)
- 〈定員〉 20名
- 〈研修日程〉 7月13日(土) 9:30~17:20
7月14日(日) 9:00~17:35



〈お問合せ〉 社会福祉法人 高槻ライフケア協会

☎072-683-4945 📠072-683-4649 📧kakutan03basic@tlca.info

☐連携協力機関(敬称略)／地域生活支援センター光・あいあい塾・囲む会ヘリオフレンド・ぷれいす Be

社会福祉法人 高槻ライフケア協会 2023(令和5)年度事業報告

1. 法人の主な取り組み



(1) 収支・給与改善の取り組み

2023年度の決算額は28,8304千円(予算比100.9%)でした。常勤職員2.5ヶ月分、非常勤職員1.1ヶ月分の賞与を支払い、ベースアップ等支援加算金を常勤一人に月6,825円、非常勤職員1時間につき39円を支給し、給与改善を行いました。利益率は8.7%、人件費比率74%、人件費率を抑えつつ利益を上げ、事業の継続性を確実にしていきます。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策の取り組み

2023年5月8日をもって、感染症の位置づけが2類相当から5類へ変更されました。しかし、これ以降もマスクの着用、手指消毒及び定期的な抗原検査を実施しました。

(3) その他の主な取り組み

①労務管理改善…法人側のスタンスでは、月次数値管理による訪問介護稼働率改善で約+5ポイント程度改善し、残業時間を法人全体で年間約475時間(前年度比約20.6%減)程度削減しました。職員側のスタンスでは、諸手当の増額改善や新設をし、年間労働時間44.6時間削減、年間休日数の実質104日から110日へ改善しました。

②人材確保…求人窓口を広めた結果、常勤職員5名(内3名退職)、非常勤8名(内3名退職)の採用ができました。手当等の上乗せが他法人との競争力アップに繋がりました。

③人材育成…法人本部研修として年に18回の内部研修を、介護労働安定センターweb研修(動画配信)を計7回実施しました。今後も研修制度の確立が重要なテーマになります。業務の標準化を進め、同時にOJTに力を入れていきます。

④法人全体の業務効率化と働きやすい職場作りの取り組み…介護ソフトや介護補助具の導入等の取り組みを行いました。今後も、生産性の向上による働きやすい職場環境づくりに取り組みます。

⑤BCPの策定取り組み…介護労働安定センターの専門家の支援を得て、BCP(事業継続計画)の策定を行いました。机上訓練を実施し、各事業所に合ったBCP作りをしました。

⑥昨年の夏、理事2名で高槻・茨城市内の相談支援センターや支援学校を訪問し、医療的ケアが必要な重度・最重度の障がいのある方に対する重度訪問介護サービスが大きく不足していることが明らかになりました。今後は、この課題解決に取り組んでいきます。

2. 法人本部

(1) 評議員会の開催状況 第11回評議員会 6月17日

(2) 理事会の開催状況 第101回理事会 5月30日 第102回理事会 6月17日
第103回理事会 11月25日 第104回理事会 3月23日

(3) 評議員選任・解任委員会の開催状況 第6回評議員選任・解任委員会 4月20日

〈2023年度決算報告書〉

○事業活動収支計算書

(単位:円)

項目	金額
サービス活動収益①	286,841,220
介護保険事業収益	183,987,177
障害福祉サービス等事業収益	99,843,609
その他の事業収益	2,626,000
経常経費寄附金収益	384,434
サービス活動費用②	261,671,327
人件費	213,322,527
事業費	10,655,078
事務費	33,179,996
減価償却費	6,786,730
国庫補助金等特別積立金取崩額	-2,273,004
サービス活動増減差額③(①-②)	25,169,893
サービス活動外収益④	1,460,908
サービス活動外費用⑤	94,671
経常増減差額⑥(③+④-⑤)	26,536,130
特別収益⑦	0
特別費用⑧	0
当期活動増減差額⑨(⑥+⑦-⑧)	26,536,130

○貸借対照表

2024年3月31日 (単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	228,416,016	流動負債	38,790,679
現金預金	171,735,759	事業未払金	27,486,845
事業未収金	45,675,129	1年以内返済予定設備資金借入金	1,416,000
未収金	0	1年以内返済予定長期運営資金借入金	3,540,000
立替金	10,985,758	1年以内返済予定リース債務	504,000
前払金	19,370	預り金	76,818
仮払金	0	職員預り金	5,323,566
固定資産	153,572,983	前受金	443,450
基本財産	142,387,996	仮受金	0
土地	101,796,936	固定負債	44,119,000
建物	40,591,060	設備資金借入金	7,080,000
その他の固定資産	11,184,987	長期運営資金借入金	35,695,000
建物	5,365,308	リース債務	1,344,000
構築物	269,539	負債の部合計	82,909,679
車輛運搬費	157,584		
器具及び備品	774,866	純資産の部	
有形リース資産	1,808,890	基本金	10,000,000
権利	2,765,800	国庫補助金等特別積立金	21,969,725
投資有価証券		次期繰越活動増減差額	267,109,595
その他の固定資産	43,000	純資産の部合計	299,079,320
資産の部合計	381,988,999	負債及び純資産の部合計	381,988,999

事業所だより

「パステルアート教室」5月22日

小規模多機能型居宅介護あすなろのスタッフ T さんのご協力、「パステルアート教室」を交流センターでも開催することができました。一生懸命に絵を描いていると日頃のストレスがすーと解消されるような充実感に包まれました。今回はアジサイとサクラamboをテーマに描きました。 (毎月第4水曜日 10時から)



地域交流センターあすなろ

「和漢薬膳教室」5月30日

季節ごとの体の変化に合わせた食品を知り、適切な暮らしをご一緒に考え実践していく教室です。フレイル予防にも最適です。講義の終わりには、季節の「薬膳茶」と棗(なつめ)のクルミサンド、サンザシのお菓子を頂きほっこりゆったり癒しの一時を味わいました。

(「春夏秋冬」折々に年4回開催予定)



くらし創造の家 朋(とも) 小規模多機能型居宅介護



初夏、からだ暑さに慣れないご利用者たち。体感には個人差もあり、空調だけではなかなか調整しきれなくて…そんな時ひとりの方の「アイス食べたい」の一声で、自家製アイスを作ってみました。材料はシンプルに、牛乳、卵、砂糖のみ。混ぜて冷やしてかきまぜて。昔懐かしいアイスクリンの出来上がり！シャリシャリ食感、優しい甘さが口いっぱい広がります。暑い方は涼しく、そうでない方にもおいしい季節のおやつ。数日後も「また作って〜」と、声があがっていました。

他にも、ホットプレートでどら焼き作りなどなど。(生地の焼き方にも、ご利用者それぞれのこだわりがあって興味深い！)昼下がりの眠気を吹き飛ばすおやつ作りで、なんだか妙に活気ある朋です。

園芸部も、ぼちぼち活動中。ひまわりの芽はことごとく虫に食われて四苦八苦。その横でミニトマトがぐんぐん生い茂り、この夏はたくさん収穫が見込めそうです！



訪問介護の七つ道具

訪問介護の現場はご利用者の環境によって、必要な道具が異なります。そのため現場で必要なものは、できる限り揃えておくことが大切です。あれもこれも揃えているといつの間にかバッグと自転車のかごは、ぱんぱん状態。どのアイテムもいつかは使うと思い、省けなくなっているのが実情です。ではその必要アイテム、訪問介護の7つ道具をご紹介します。感染予防対策(手指消毒用アルコール、使い捨て手袋、ゴーグル、マスク、エプロン)・・・これら感染対策グッズは必要不可欠です。新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等に感染しない、させないように気をつけています。スマホ・文房具(ボールペン、メモノート、印鑑、手帳、バインダー、電卓)・・・援助の記録や買い物計算、伝言などに必要です。その他(ハンカチ、ポケットティッシュ、家事用エプロン、ナイロン袋、レジ袋、

訪問介護



タオル、水筒、傘、カップ)・・・これらは、必需品と状況に応じて必要になるであろうアイテムです。他のヘルパーから(リップ、日焼け止め、ハンドクリーム、手洗い用洗剤、エコバック、ハサミ、輪ゴム、絆創膏、入浴介助ウェア等々)・・・各自それぞれ必要なアイテムがあるようです。夏は特に猛暑対策で、水に濡らして振ると涼しくなるクールタオルやハンディ扇風機やネッククーラー、着替えのアンダーシャツ、首筋を覆う帽子、塩飴なども揃えておくヘルパーが増えています。このようにあらためて確認すると多種多様、思ったよりかなりのアイテム数になっていました。バッグや自転車のかごが一杯になり、結構重い！これから今年も猛暑になるであろう夏に向けて、ショルダーにくい込むバッグの重みに耐えながら、今日も高槻市内の北へ南へ、東へ西へと、ご利用者のもとへ馳せ参じます。(K)



小規模多機能型居宅介護あすなろ

「あすなろ」では、たくさんの楽しいレクリエーションを取り入れています。例えば、脳トレや将棋は頭の働きを良くし、タオル体操や風船バレーは体を元気に保ちます。絵本の読み聞かせや紙芝居は懐かしい気持ちになり、

心を落ち着かせます。工作や折り紙などの創作活動は、楽しみながら自己表現できるので、達成感も得られます。そして、こうした活動を通じて、利用者同士・職員との交流が深まり、施設全体が明るく楽しい雰囲気になりました。



サービス提供実績報告



【事業名】	2023 年度合計		【事業名】	2023 年度合計	
訪問介護	利用者数	616 人	重度訪問 介護	利用者数	21 人
	利用時間	7,336.5 時間		利用時間	701.5 時間
	生活援助	1,641.0 時間	移動支援	利用者数	557 人
	身体介護	2,828.5 時間		利用時間	5,304.0 時間
	身体生活	2,867.0 時間	ケア ワーカー 派遣 サービス	利用者数	188 人
介護予防 訪問介護	利用者数	367 人		利用時間	427.0 時間
	利用時間	2,610.0 時間		家事援助	331.5 時間
障害福祉・ 居宅介護	利用者数	924 人		身体介護	95.5 時間
	利用時間	12,864.8 時間	小規模 多機能型 居宅介護	月平均利用者数	
	家事援助	6,095.3 時間		くらし創造の家 朋(とも)	22.08 人
	身体介護	5,594.0 時間		あすなる	18.50 人
	通院介助	1,175.5 時間	短時間デイ	地域交流センター あすなる	0.33 人
同行援護	利用者数	396 人			
	利用時間	5,060.0 時間			

✳️NPO 法人高槻ライフケア協会の物品販売



とってもおいしい!
アイスコーヒー(豆・挽)
500g 1,750 円



コーヒー(豆、挽)
500g 1,250 円



たこ飯の素
(2 合用)
550 円



編集後記

先日、念願だった金毘羅さん本宮までの階段1, 368段を登りました。8年前、お腹に長男がいて断念した場所を、その長男と通り過ぎた時はひとり感無量となりました。本宮で家族の健康をお祈りし、さあ下り！足がまさに棒のようになり…「ママ遅いねん」と言い、ひとりすたすたと階段を降りていく長男を見て、自分の体力の衰えを感じながら帰りの途に着きました。(A)

社会福祉法人高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町 5 番 7 号 TEL:(072) 683-4945 <http://tlca.info/>